

移動体管理/マッピング用 Trimble 社製 GNSS 受信機の

ロールオーバー状態について

株式会社ニコン・トリンプル

平素は Trimble 社製 GNSS 受信機をご利用いただき、誠に有難うございます。

現在、お客様がご使用の Trimble 受信機の一部（旧型）におきまして、2016 年 2 月 14 日以降の観測で、日付を制御するシステムにロールオーバー状態（詳細は後述）が確認されました。これにより、受信機内部の日付が実際とは異なる日付となり、補正計算が出来ず単独測位値のみの出力となります。当該機への対策といたしましてファームウェアのアップデート版 (AgGPS 252/332, DSM232 シリーズ) をご用意させていただきました。詳細は、下記の内容をご一読いただけますようお願い申し上げます。このたびは、ご迷惑をおかけして申し訳ございません。

記

【ロールオーバー対象機種】

- AgGPS 252/332, DSM232 のうち
ファームウェアが Ver.3.70 以前の機種（ファームウェアが最新の Ver.3.71 であれば対策済）
- MS750 のうち
ファームウェアが Ver.1.58 以前の機種（ファームウェアが最新の Ver1.59 であれば対策済）
- 旧受信機 DSM212 DSM132 AG124 AG132 PROXR

【対象機への対策】

- AgGPS 252/332, DSM232
 - ① ファームウェアのバージョンが最新の Ver.3.71 の場合、当該現象は発生しません。
 - ② ファームウェアのバージョンが Ver.3.70 以前の場合には、ファームウェアを最新の 3.71 にアップデートすることにより、当該現象を解消できます。

→ [ファームウェアのアップデート方法](#)
- 旧受信機 MS750
 - ① ファームウェアのバージョンが最新の Ver1.59 の場合、当該現象は発生しません。
 - ② ファームウェアのバージョンが Ver1.58 以前の場合には、ファームウェアを最新の Ver1.59 にアップデートすることにより、当該現象を解消できます。ただし、お客様でバージョン UP の環境を整えるのが難しいため、弊社問合せ先にご連絡願います。
- 旧受信機 DSM212 DSM132 AG124 AG132 PROXR

既に米国 Trimble 社におけるメンテナンス期間終了のため、対策用ファームウェアの提供はございません。長らくご使用いただき、誠にありがとうございました。ご迷惑をおかけいたしましたこと、深くお詫び申し上げます。

【ロールオーバーに関する情報】

→ [ロールオーバー現象の概要](#)

→ **発生が確認された現象内容**

【この件に関するお問い合わせ】

株式会社ニコン・トリンプル
特販営業部 (TEL : 03-5710-2666 メール : apsupport@nikon-trimble.net)

以上

→ **【ロールオーバー現象の概要】**

GNSS の日付管理は、基準となる日からの GPS 時における週数と週の初めからの秒数により、日付管理を行っています。受信機と衛星は、「週」の部分で 0~1023 週までカウントできるようになっていますが、この週数のカウントがいっぱいになり、「0」にリセットされ、GNSS のデータの日付が基準値に戻った状態を「ロールオーバー」と言います。この場合、受信機は、実際の日付とは異なった日付を表示します。今回の現象は週数カウントのエラーにより、受信機に設定された基準値に戻ってしまうために、ロールオーバーと同じように実際の日付とは異なる日付を表示・記録します。

→ **【発生が確認された現象内容】**

- Becon・SBAS を使用したディファレンシャル観測
 - 受信機内部の時計と補正データの日付と異なるため受信機内部で補正計算がされず NMEA 出力の値が単独測位値で出力されます。
 - 受信機から出力されるタイムタグを使用されている場合、出力の日付が 1996 年のタイムタグになります。